

## 発酵玄米 前立腺がんも抑制

### 名古屋市立大チームが立証

玄米と米ぬかをこうじ菌で発酵させた食品(FBRA)に前立腺がんの進行を抑制する効果があることが、名古屋市立天大学院医学研究科を中心とする研究チームの実験で明らかになった。研究チームはこれま

でもマウス類を使った実験を通じて、大腸、肝臓、肺、膵臓などのがんはFBRAが効果があるとする論文を発表しており、今後はがんの予防や進行を抑える仕組みの解明を進める。

実験は、FBRAに大豆

などを加えた食品を販売している玄米酵素(札幌、鹿内正孝社長)の委託を受けて行った。前立腺がんを発生するよう遺伝子操作したラットに通常のえさとFBRAを混ぜたえさを与え、がんの進行具合に差があるかを比較した。その結果、FBRAを混ぜたえさを食べさせた方が、がんの進行を抑制できたという。

実験では、FBRAを混

ぜたえさを与えたラットの方が、腫瘍の周辺で細胞死(アポトーシス)が活発になる傾向もみられた。研究チームは、がんの進行を抑制するメカニズムの一つとみており、久野寿也名古屋市立天准教授は「今後はどういふメカニズムなのかも解明していきたい」と話した。